

基本目標

男女に加えて、性的マイノリティの人も含めた全ての人が性別に関わらず自分の特性を活かして活躍できる社会を実現するために以下の基本目標を定めます。

基本目標 1

誰もが自分らしく働ける職場環境の実現

性別に関わらず、自分の特性等を活かして活躍できるよう、性差によらないキャリア教育を実施するとともに、実際に活躍している女性のロールモデルを発信することで、より自由な将来選択を可能とする意識をつくり、女性の活躍や職域拡大を促します。

加えて、ワーク・ライフ・バランスを実現するために事業者への啓発を行います。また、事業者に対して就労や雇用におけるジェンダー平等や適切な人事評価を促し、雇用形態や給与、昇進等の待遇面で性別による格差をなくすための意識づくりに取り組みます。さらに、性別に関わらず働きやすい環境の実現に向けて、ハラスメント対策の実施を呼びかけます。

基本目標 2

性別に関わらず語り合い、支え合う地域の実現

時代の変化とともに多様化する価値観や生き方に対応するために性別に関わらず互いを認め合うことのできる意識づくりに取り組みます。

男女の意見が平等に地域活動の場に反映されるよう、性別役割分担意識の解消に加えて、地域団体への女性の参画を推進します。

加えて、困難を抱えた人が自分らしく生活できる環境をつくるために、地域ぐるみで見守り・支え合いの体制を構築するとともに、一人ひとりが生涯にわたって健康な生活を送ることができるように、出産や育児、健康づくりに関する支援を行います。

基本目標 3

家庭におけるジェンダー平等の実現

子ども世代から性別に捉われない価値観を身に付けられるよう、家庭での教育を行うとともに、親がジェンダー平等のモデルとして家庭における役割分担を見直すことができるよう啓発を行います。また、年齢・性別に関わらず、自立した生活を送ることができるよう、生活力の向上に向けた教育や啓発を行います。さらに、DV等の暴力の根絶を目指し、引き続き相談等の支援を実施するとともに、情報発信を行い、当事者や周りの人々の気付きを促します。